

## 『D-Pos 印刷管太郎連携』

### ●開発背景

- ・現状の印刷管太郎標準版では、用紙の在庫管理は機能としては持っていない
- ・用紙の発注書はあるものの、いつ入って、現在どの位在庫があるか不明
- ・印刷会社の多くはエクセル管理
- ・D-Pos と連携することで上記管理が可能となり無駄な用紙発注を防ぐ
- ・より効率化、情報共有することで利益算出を目指す

### ●印刷管太郎側カスタマイズ 追加機能

受注管理内に在庫管理、出庫管理 DB 追加

(印刷管太郎用紙品目マスタ、コストテーブル仕様)

- ・在庫管理 DB では用紙の入出庫管理機能（月次処理機能）
- ・出庫管理 DB では日報入力から使用用紙数を転記
- ・用紙発注にはバーコード生成機能追加  
運用イメージ
- ・通常運用は用紙発注画面から用紙発注書を出力してメールか FAX にて発注
- ・用紙発注にはコストテーブルを参照する仕組み
- ・用紙発注にバーコード生成、入荷時にバーコード読み取り（自動在庫登録）
- ・出庫については、印刷管太郎作業日報を入力することにより出庫データを引き当てる

### ●発売開始日

2024年4月1日

### ●販売価格

400,000円から（バージョンやカスタマイズ要件にて変動します）

### ●販売予定数 20本

## 『印刷管太郎・印刷機メーカー生産管理システム連携』

### ●印刷管太郎 XI と各印刷機メーカーと連携

1998年12月発売開始,以来累計600本以上販売させていただいております『印刷管太郎』  
自動化・省力化を担うべくシームレスな連携が可能となりました。

### ●開発背景

ここ数年印刷機メーカー側での生産管理システムの導入も進み、より正確な印刷機稼働数値を取る流れが増えてきました。印刷機メーカーの生産管理システムでも job を生成する必要があります。

その入力作業が2度手間との話も多く job 情報は印刷管太郎（他社 MIS でも）が先に営業マンが入力していることが多い為、そのデータの活用及び効率化、省力化を図るべく各印刷機メーカーと打ち合わせを重ねて今回の発表の流れとなりました。

### ●連携するメリット

#### ・『印刷オペレーター業務負担の軽減』

印刷管太郎では『原価の見える化』のため作業実績を日報として入力する必要がある CSV 連携することにより入力作業が不要。

#### ・『正確な情報収集が可能』

印刷機メーカーの生産管理システムでも job を生成する必要があります。

受注情報は印刷管太郎で先に入力済み。その job データ CSV を印刷機メーカー側へ送り JOBID（受注番号）に実績データを送り返してもらう仕組み。

トータルの人にによる入力の差もなく正確な情報収集が可能となり  
より正確な原価管理が可能となります。

●連携可能な印刷機メーカー生産管理システム

・リョービ MHI グラフィックテクノロジー株式会社

『プレスインフォメーションクラウド』

・株式会社小森コーポレーション

『KP-ConnectPro』

・ハイデルベルグ・ジャパン株式会社

『プリネクト CSV コネクター・MIS コネクター』

\*実際には各印刷機メーカーとユーザーと弊社にて要相談

●発売開始日

2024年4月1日

●販売価格

500,000円から（バージョンやカスタマイズ要件にて変動します）

●販売予定数 20本